

【凡例】

刻印印影(右上英字は確度)

- A: 確実 (社名・番号で刻印抽出、文献等の裏付けあり)
- B: ほぼ確実 (社名・番号で刻印抽出)
- C: 推定 (刻印分布や共起い状況などから推定)
- D: 仮定 (情報源により否定される可能性あり)

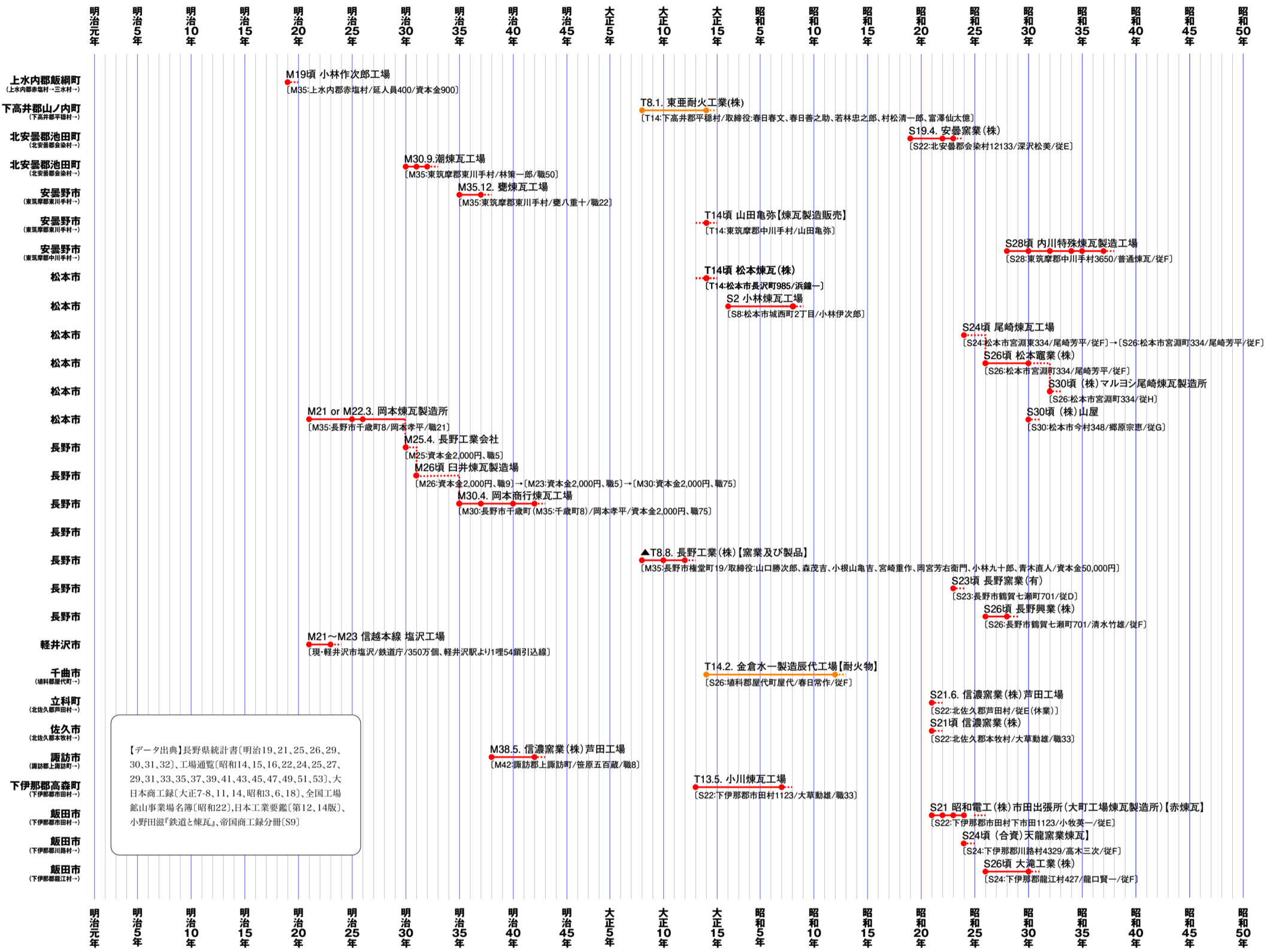
同じ所在地で所有社・社名の変更があった場合
「→」で列記

● M40.1. 甲州煉瓦(株) → S39頃 東洋第一コンクリート(株)【赤れんが、生】
M40: 西山梨郡甲運村/社長: 山本儀一郎、常務取締役: 宇佐美二寶、古屋卯三郎、取締役

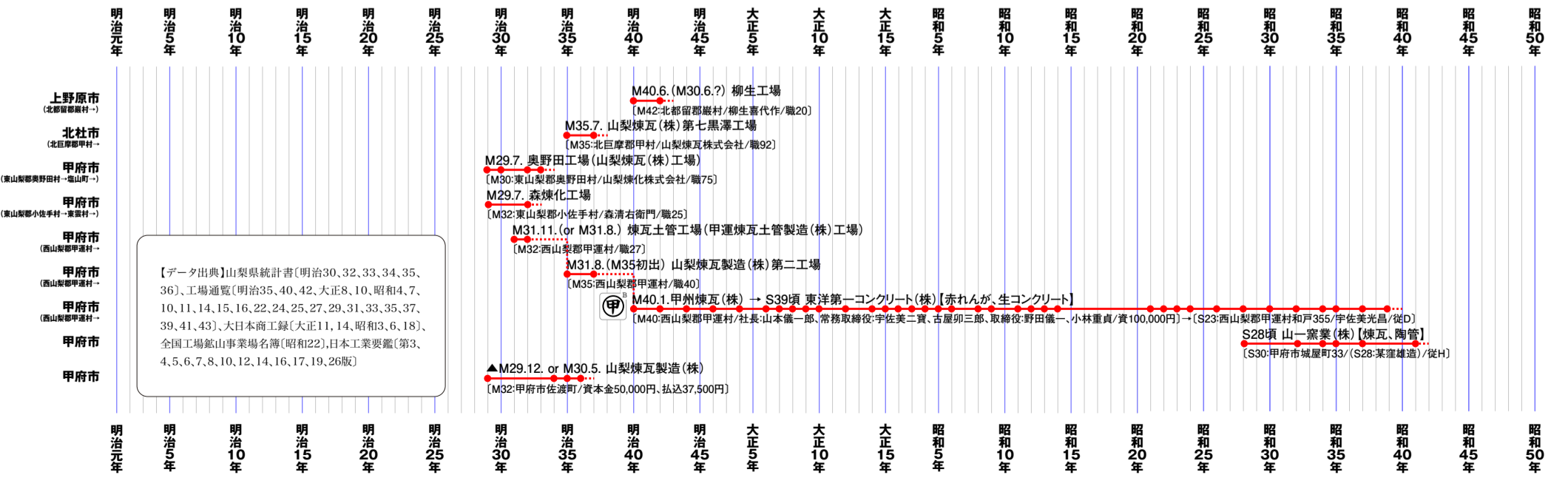
所在地(旧市町村名)/社長・代表者/工場規模(時点)

●は文献で操作が確認できた年度を示す
赤は普通・化粧煉瓦、オレンジは耐火・耐酸煉瓦類、桃はその他。破線は操作状況が不明/別業で操作

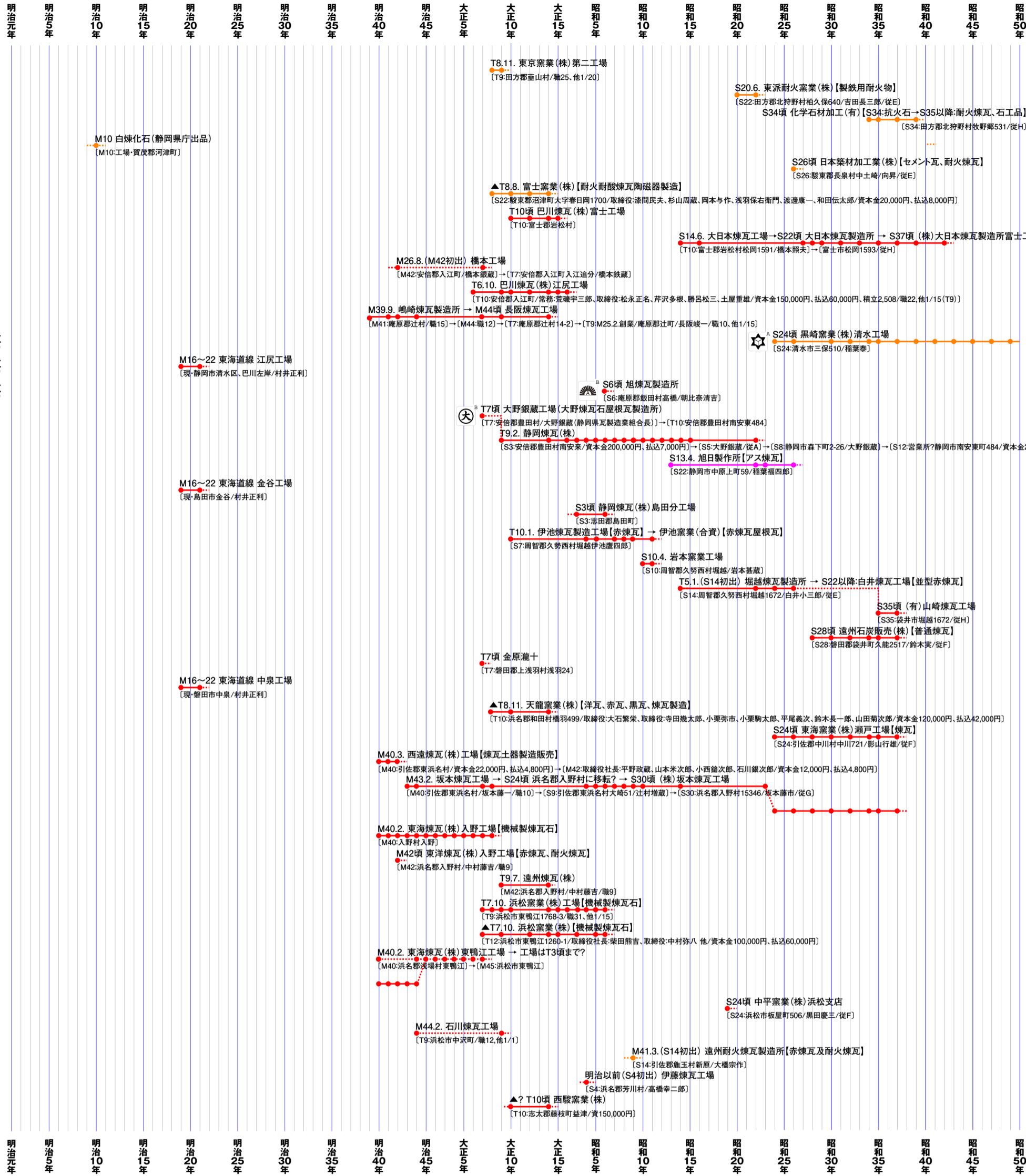
※創業年は資料によって異同がある。信憑性の高いものを恣意的に採用した。
※会社名×は設立だけで実稼働しなかったと思われる会社(職工数の登録がないなど)、▲は販売会社。
※刻印印影は2019年2月現在における推定。データの蓄積により訂正される可能性あり。更新版は
<http://bdb.kyudou.org/documents/factorylists/>にて配布。



長野県下煉瓦工場の消長



山梨県下煉瓦工場の消長



静岡県下煉瓦工場の消長

【データ出典】明治十年内国勲業博覧会出品解説、長野県統計書(明治40、41、42、43、44、45-大正1、大正2、3、32)、工場通覧(明治40、42、大正8、9、10、昭和4、7、9、10、11、12、13、14、15、16、22、24、25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47、49、51、53)、大日本商工録〔大正7-8、11、14、昭和3、5、6、7、18〕、商工興信録本州中部地方(大正8)、窯業銘鑑(大正14)、日本工業要鑑〔第2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16、17、19、26、27版〕、鉄道一瞥、帝国商工録分冊(昭和11、12)